



オオバラら3社讃える

日測協中部支部 公共測量表彰式

日本測量協会中部支部は1日、名古屋市のアイリス愛知で2024年度「第20回公共測量品質管理表彰式」を開いた。中部地区で優秀賞(基準点測量)に選ばれたオオバ、ナガサクコンサルタント、若鈴の3社に盾などを贈った。写真。

同協会の廣田三成理事兼測量技術センター長は、「公共

事業を行う上で測量が最初の作業となる。その時の品質の良しあしが次の作業に影響するため、測量の成果は非常に重要だ」と話し、さらなる品質管理やスキルアップに努めるよう要請した。

同表彰は05年の「公共工事の品質確保の促進に関する法律(品確法)」の施行を機に創設し、今年で20回目となる。

る。

今回は23年度に測量成果の検定(基準点測量、地図作成)を受検した会社を審査した。中部地区は139社、405件が対象になった。

式終了後、同支部は24年度業務報告会を開いた。事業活動を説明したほか、支部長を務める鈴木康弘名大減災連携研究センター教授が「能登半島地震と活断層」をテーマに講演した。